令和３年度
社会福祉法人ファミリーケアサービス
事　業　報　告

目　次

事業報告

社会福祉法人ファミリーケアサービス
…p3

すこやか横手
…p3 ～ p5
特別養護老人ホームすこやか横手
ショートステイすこやか横手（介護予防）
ケアハウスすこやか横手
老人介護支援センターすこやか横手
すこやか横手居宅介護支援センター
デイサービスセンターすこやか横手（第1号通所）
すこやか横手ホームヘルパーステーション

すこやか大雄
…p5 ～ p6
特別養護老人ホームすこやか大雄
ショートステイすこやか大雄（介護予防）
老人介護支援センターすこやか大雄
居宅介護支援事業所すこやか大雄

すこやか森の家
…p6 ～ p7
特別養護老人ホームすこやか森の家
ショートステイすこやか森の家（介護予防）
デイサービスセンターすこやか森の家（第1号通所）

シルバードームいきいきの郷
…p7 ～ p9
特別養護老人ホームシルバードームいきいきの郷
ショートステイシルバードームいきいきの郷（介護予防）
デイサービスセンターシルバードームいきいきの郷（第1号通所）
増田町居宅介護支援事業所
増田町在宅介護支援センター

すこやか館合
…p9 ～ p10
特別養護老人ホームすこやか館合
ショートステイすこやか館合（介護予防）
小規模多機能型居宅介護事業所すこやか館合（介護予防）

児童発達支援事業「モモの家」
…p10

県南愛児園ドリームハウス
…p11

横手市サンハイム
…p11

障害者支援施設「ひまわり社」
…p11 ～ p12

事業報告（統計資料）

すこやか横手
…p14 ～ p16

すこやか大雄
…p17 ～ p19

すこやか森の家
…p20 ～ p21

シルバードームいきいきの郷
…p22 ～ p24

すこやか館合
…p25 ～ p26

児童発達支援事業「モモの家」
…p27

県南愛児園ドリームハウス
…p28

横手市サンハイム
…p29

障害者支援施設「ひまわり社」
…p30

令和３年度社会福祉法人ファミリーケアサービス事業報告

１．社会福祉法人ファミリーケアサービス

新卒採用一年後研修を実施した。今後、職責・経験等に基づく研修の検討と実施を進めて行きたい。

愛児園施設整備検討委員会を設置し、検討経過については理事会で報告した。

ひまわり社・モモの家の今後の在り方について、横手市と協議を重ね、現愛児園の建物を活用する方向とした。

業務の効率化における ICT 導入について、必要に応じて業者による説明会を開催し、効果的な運用を図れるように進めた。

事業所の多くで、前年度の利用率を下回っている。その要因については、各事業の特色や事情によって異なるが、それぞれの要因を分析し利用率向上に結びつける必要がある。法人セミナーは、コロナウイルス感染の状況において中止とした。

２．特別養護老人ホームすこやか横手

退去者数が多く約４割の入居者が亡くなり、そのうち１１名の方を施設で看取っている。看取りにおいては県内外問わず家族との面会の機会を設ける事で入居者や家族に大変喜んでいただけた。新型コロナ感染症に感染した職員もいたが、職場内感染には至らず現在の感染対策が機能していると判断される。

報酬改定に伴う新たな加算の算定も含め介護ソフトの活用を進めてきた。下半期より徐々にＩＣＴへの移行を進めているが、令和４年度中には完全移行し業務改善に結び付けていきたい。

＜提供目標と実績＞

目標　　年間延べ１７，５２０人（４８．０人／日　稼働率９６．０％）

実績　　年間延べ１６，９３８人（４６．４人／日　稼働率９２．８％）

＜要因＞

前年に比べ退去者数が大きく増加したため。

３．ショートステイすこやか横手（介護予防）

定期利用者で施設入所された方の要介護度が４～５と多かった中で、新規希望者の介護度が要介護３以下の方が多かったため、全体の平均介護度は２．８２と低下。平均介護度は低下しているが、認知症の進行による多動や転倒リスクが高い方の利用が多い傾向にある。そのため職員間の協力体制と認知症ケアの理解を深めた適切なケアの実施が重要となっている。

また、平均介護度が低下したこともあり、余暇活動や他者との交流を楽しみに利用されている方が前年に比べ増加。コロナ禍で頻度は少ないながらも、定期的に活動（個別活動も含め）を企画・実施することができており、次年度は更なる充実を図っていきたい。また、家族への情報提供の一環として行っている広報の発行も定期的に行い、取り組みへの理解や安心した利用に繋げていきたい。

＜提供目標と実績＞

目標　　年間延べ6，７１６人（１８．４　人／日　稼働率９２．０％）

実績　　年間延べ６，４９６人（１７．８人／日　稼働率８９．０％）
＜要因＞
定期利用者（長期）の施設入所が多かったが、特に上半期は利用ニーズが一時的なものが多く、新規利用者の定期利用に繋がらず、まとまった空床調整に時間を要してしまった。

４．ケアハウスすこやか横手

男性平均年齢８５歳、女性平均年齢９１歳において、認知症による物忘れや被害妄想などが多くみられ、そのことを原因としたトラブル等が生じている。そのためちょっとした精神的変化や健康状態に気づける知識と技術が求められる。

また、入居者の健康管理（整容・衛生管理・血圧測定・体温測定・体重測定・水分摂取など）に努め、体調不良や外傷等を早期発見すると共に、家族等への連絡や職員による受診対応を行っている。家族等が県外在住のある場合は、介護支援専門員と連携を図り対応をした。家族関係が希薄になっている傾向にあり、家族の協力が得られにくくなっている。

新型コロナウイルス感染により行事を縮小しているが、個別の買い物外出には強い希望があり、地域の感染状況を見ながら実施している。

申込み者の傾向として精神疾患（横手興生病院通院中）や認知症の方が増加している。

５．老人介護支援センターすこやか横手

地域の高齢者等から、様々な相談に総合的に応じ、必要に応じた各種の保健・福祉サービスが受けられるように関係機関と横断的連携により住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように支援を行った。また、地域包括支援センターと定期的に情報交換会を行いながら、複合世帯ニーズ・孤立している世帯・経済的困窮者等の支援を行った。

引き続き、横手市からの受託事業（横手市地域包括支援センターのブランチ）として、地域の要援護高齢者及びその家族の福祉の向上を図っていく。

６．すこやか横手居宅介護支援センター

令和３年度は、人員配置上により目標の件数には届かなかったが、新型コロナウイルス感染による面会制限、帰省困難、事業所の休止等、必要な支援を受けることができない状況の中でも暮らしを続けられるように対応を行った。

また、規定の居宅介護支援の提供のみならず、より質の高い居宅介護支援を提供できるよう感染対策を行いながら事例検討や、他法人との研修会企画等を行ったり、地域貢献事業として「出前講座」を企業から依頼を受け、講師として派遣し地域の福祉力や介護力の醸成を目的とした活動も行った。

＜提供目標と実績＞
目標　介護給付　１６０件／月
実績　介護給付　１２４件／月
＜要因＞
人員体制が５名から４名となったため。

７．デイサービスセンターすこやか横手（第１号通所）

「興味と関心を持ち何度も利用したくなるデイサービス」を目指し、レクリエーション活動の内容を工夫しながら対応できた。また、利用者個々のケアについても介護・看護の

連携を図りながら対応できた。
　しかし、年度途中の退職や新規採用があり、企画を考える時間や、職員研修に費やす時間が十分に確保できなかった。
　各居宅介護支援事業所からの問い合わせがあった際は速やかに対応し新規利用に繋いでおり、前年度に比較して利用率が６％程増えた。しかし、問い合わせ件数は少ない状況である。また、ショートステイの利用、逝去や入院、冬期の利用率低下があるため、引き続き新規の受け入れ、利用回数増の対応、スポット利用の受け入れに努めていく必要がある。

＜提供目標と実績（定員３０名）＞
　目標　年間述べ　４，６９５人（１５．０人／日　利用率５０．０％）
　実績　年間延べ　４，７２６人（１５．１人／日　利用率５０．３％）
＜要因＞
　利用調整に速やかに対応した。車いす利用者については送迎車両の関係上、受け入れに制限が生じた。

８．すこやか横手ホームヘルパーステーション
　介護職員不足の解消と経営改善への対応として、平成２９年８月１日から事業を休止する。現在も休止中。

９．特別養護老人ホームすこやか大雄
　新型コロナウイルス感染対策のため、勤務調整により対象職員が出勤を控える事はあったが、比較的安定した職員体制でサービス提供にあたり、会議や研修、行事等の取り組みも計画通り実施し、ICT 導入への取り組みも行った。
　施設での看取りについて、今年度は退所者１２名の内、３名の入居者が施設で最後を迎えた。

＜提供目標と実績（定員５０名）＞
　目標　年間延べ１７，３３８名（４７．５名　利用率　９５．０％）
　実績　年間延べ１７，０５７名（４６．７名　利用率　９３．５％）
＜要因＞
　年度の前半を中心に情報収集と事前調査の日程調整に時間を要す事があった。年度の後半は入院者や空床数も少なく利用率は比較的高めで推移している。

１０．ショートステイすこやか大雄（介護予防）
　年間を通して比較的安定した職員体制でサービス提供を行なう事ができた。認知症の方が多く対応に苦慮する面もあったが、職員間で対応を検討し、家族や担当介護支援専門員と情報共有しながら支援に努めた。また、新型コロナウイルスへの感染対策に配慮しながらも、施設の畑での収穫作業やユニット調理、レクリエーション活動等を利用者と一緒に行うことができた。

＜提供目標と実績（定員１０名）＞
　目標　年間延べ３，６５０名（１０．０名　利用率１００．０％）
　実績　年間延べ３，４５４名（　９．５名　利用率　９４．６％）
＜要因＞

定期利用者の入院や他施設への入所、死去等、が比較的多く利用率の低下がみられた。新規利用者の契約に至るまで時間を要した時もあり目標を下回った。

１１．老人介護支援センターすこやか大雄

相談窓口業務は施設入所関係が殆どであったが、地域ケア会議・小ネットワーク会議等へ参加し地域状況の把握に努めた。また大雄支えあいネットの構成員として会議に参加し、協議体活動への協力を行っている。

＜活動実績＞
内　容　大雄地区ケア会議出席(７，８，１０，１２月出席)
大雄地区小ネットワーク会議出席（大雄地区２１ヶ所実施 ／１８ヶ所へ出席）
大雄支えあいネット(大雄地域第２層協議体)構成員として参加
＜相談実績＞
相談件数：２２９件(施設入所関係２２９件)

１２．居宅介護支援事業所すこやか大雄

令和３年度にすこやか大雄に居宅支援事業所が移転になったことを広く周知して頂けるよう、小ネットワーク会議や地域ケア会議に積極的に参加し、ネットワークの構築に努め、地域の課題や実情を把握し、利用者の希望や課題分析の結果に基づいた総合的かつ効率的なサービス提供に努めた。また、新型コロナウイルス感染防止対策の為、関係機関や他事業所とも情報を共有しながら感染予防の徹底を図り、感染拡大の防止を図った。

＜提供目標と実績＞
目標　介護給付管理　月間６６．０件（予防含む）
実績　介護給付管理　月間５６．５件　介護予防支援計画　月間９．０件
＜要因＞
新規契約が２３件あったものの、依頼時に既に終末期で、担当期間が短期間になったケースや利用に結び付かない相談もあった。包括支援センターや医療機関にも働きかけ、若干の件数の増加には繋がり、月間目標としては概ね達成した。

１３．特別養護老人ホームすこやか森の家

利用状況に関しては、亡くなる方が続くことが多く、候補者の選定から入居までの調整に時間を要し、また年間を通し入院する入居者も多く目標稼働を大きく下回ってしまった。
また、コロナ禍において、日々の感染対策に加え、面会の制限や外出、行事等の縮小もせざるを得ない現状であったが、その中で職員間での検討を重ね、工夫した行事を実施し、入居者の生活の楽しみとして提供できた。今後もコロナ禍が続くと予想されるが、入居者の生活の質を確保したサービス提供の継続に努めていきたい。

＜提供目標と実績（定員３０名）＞
目標　年間延べ１０，５１２人（２８.８人／日　利用率９６．０％）
実績　年間延べ　９，７６５人（２６.８人／日　利用率８９．２％）
＜要因＞
退所から入居決定までの調整に時間を要したため。
年間を通じて入院者数が増加したため。

１４．ショートステイすこやか森の家（介護予防）

認知症に進行に伴い行動に変化が見られるケースが多く、個々のニーズの把握やケアプランに基づいたサービスも不十分な面もあったが、おやつ作りや、季節毎に廊下に装飾し施設内で楽しめる工夫をすることで、利用者に楽しんでもらうことができ好評であった。

また、他職種連携については、口頭での申し送りが多い事もあり、情報把握不足、伝え忘れがあった為、記録記入の徹底と情報共有の意識の統一が課題となった。

利用状況に関しては、前年度実績より若干落ち込みが見られたが、徹底した感染対策の実施の中で、有意義なサービスの提供を行うことができた。

＜提供目標と実績（定員２０名）＞
目標　年間延べ６，７５２人（１８．５人／日　利用率９２．５％）
実績　年間延べ６，０８０人（１６．７人／日　利用率８３．３％）
＜要因＞
長期利用者の他施設入所や逝去、利用キャンセルがあったため。
コロナ禍に伴い利用キャンセルとなるケースがあったため。

１５．デイサービスセンターすこやか森の家（第１号通所）

感染対策の強化を図ることで外出や調理活動の実施は困難となったが、それらに替わり安全に取り組める活動内容を工夫しながら実施することができた。

また、利用者が長い期間利用することで、職員と馴れ合いになり家族にも不快な印象を与えたケースもあり、どのような状況の中でも接遇マナーを意識できるようにすることが課題となった。

利用状況に関しては、上半期は順調であったが下半期になると登録者の減少が続き、新規入居者の受入れが追いつかなかったため目標値に届かなかった。

＜提供目標と実績（定員２５名）＞
目標　年間延べ　６，３８７人（１７．５人／日　利用率７０．０％）
実績　年間延べ　５，８４０人（１６，０人／日　利用率６４．０％）
＜要因＞
登録廃止者の人数に対して新規利用者の受け入れの人数が少なかった。
感染症対策のため利用を控えた利用者がいたこと。

１６．特別養護老人ホームシルバードームいきいきの郷

新型コロナウイルスで面会制限が多い中、感染状況を見ながら個室面会やオンライン面会を実施し、家族の安心と信頼に繋げることができた。各種行事は施設内で縮小しての開催となったが、職員による手作りの温かさを提供できた。

入所については、社会的に困窮している家族や中重度者の受け入れを積極的に行ったが、目標には少し届かなかった。

＜提供目標と実績（定員５０名）＞
目標　年間延べ１７，３３７人（４７．５人／日　利用率９５．０％）
実績　年間延べ１７，２６９人（４７．３人／日　利用率９４．６％）
＜要因＞
新型コロナウイルスの感染状況により、新規利用者への面接や調整に時間を要した。

１７．ショートステイシルバードームいきいきの郷（介護予防）

特養併設の特性を活かし、関係機関との連携も密に行い、困難事例も含め積極的な受け入れを行った。特養との併設事業所として新型コロナウイルス対策には特に注意を図り、流行を防止することができた。しかし、スムーズな利用調整ができなかったことから、年間目標には届かなかった。

＜提供目標と実績（定員１１人）＞
目標　年間延べ３，６２３人（９．９人／日　利用率９０．０％）
実績　年間延べ３，３０５人（９．１人／日　利用率８２．３％）
＜要因＞
長期利用の方で入院や体調不良によりキャンセルが多く、その後の利用調整をスムーズにできなかった。

１８．デイサービスセンターシルバードームいきいきの郷（第１号通所）

毎月趣向を凝らした運動レクや創作活動を取り入れ、楽しみのある生活づくりに努めた。１月下旬１０日間の新型コロナウイルス感染による営業休止がありながら、目標を達成することができた。特に週２回以上の複数回利用の方が増加したことが大きい。

＜提供目標と実績（定員１８名）＞
目標　年間延べ４，４６５人（１４．４人／日　稼働率８０，０％）
実績　年間延べ４，５０４人（１４．５人／日　稼働率８０．７％）
＜要因＞
利用調整を積極的に行い、空きがある曜日の利用を埋めることができた。

１９．増田町居宅介護支援事業所

新型コロナウイルス感染拡大による事業所の休止等の連絡が多かったものの、調整に難航することは少なかった。利用者・家族の他、介護支援専門員を含む関係機関の感染症に対する知識や理解が深まったことによるものと考える。死亡・施設入所による終了者が多かったが、新規相談は毎月数件あり目標を達成することができた。特に終了者の家族や親族、利用者家族の友人等からの相談が多くなっている。

＜提供目標と実績＞
目標　１１６件／月
実績　１２５．１件／月
＜要因＞
新規相談が多く、丁寧に対応をして受け入れをしたことが要因として挙げられる。

２０．増田町在宅介護支援センター

地域の高齢者等から、様々な相談に総合的に応じ住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう関係機関と横断的に連携を図り支援を行った。

今年度より地域包括支援センターとの情報交換会が開始されセンターの取り組みや包括支援センターとの連携について協議している。

社会福祉協議会が主催する小ネットワーク会議へ参加し、地域の民生委員等と共に要援護者を把握し必要に応じて各種の保健・福祉サービスが受けられるよう情報共有を行った。

２１．特別養護老人ホームすこやか館合

基本方針にある職員信条に沿った対応を心掛け、入居者の尊厳を守り安全に過ごしていただけるように努めている。各ユニットのサービスコンセプトは見直し、職員個々の意識を高め対応することができていた。

また入居者の健康管理においても、厳格な感染対策のもと新型コロナウイルス病はもとより各種感染症の流行を未然に阻止でき健康維持に努めることができた。

新型コロナウイルス感染症における社会の自粛傾向から、感染対策強化に伴い地域交流会等の取り組みが中止せざるを得ない状況だった。今後感染状況を見定め新たな視点から地域との関わり方を模索していきたい。

＜提供目標と実績（２９名）＞

目標　年間延べ１０，５８５人（２７．８人／日　利用率９６．０％）

実績　年間延べ　９，５３３人（２６．１人／日　利用率９０．１％）

＜要因＞

目標に比べ空床率が高くなっている。入居調整については、事前の準備を円滑に行い、速やかに入居出来るよう調整していきたい。また、入院期間は長くなる傾向にあったが、日々の医療面のケアを充実させていきたい。

２２．ショートステイすこやか館合

基本方針、サービスコンセプト「よりそい」に沿って、利用者、利用者家族と信頼関係を構築すると共に身近な存在となれるよう、個別ケアに重点を置き、笑顔あふれる親切丁寧な対応を心掛け、満足できるサービスを提供できるよう努めた。

重点課題にも挙げている新型コロナウイルス感染防止について、日常のあらゆる場面においてのシミュレーションを実施し、ご利用者に安心して過ごしていただけるよう努めることができた。今後も目まぐるしく状況は変化していくことが予想されるため、周辺の状況の把握に努めるとともに、こまめに対応の見直し、適切な対応を徹底していけるようにしたい。また、コロナ渦であることが少なからず稼働に影響している側面があるため、迅速に柔軟な対応が取れるようにしていきたい。総合的な稼働状況について、少しずつではあるが、上昇傾向であるため、今後もバランスよく高水準なケアを提供しつつ、安定した稼働の定着を比較的早い段階で達成できるように関係各所へと働きかけていきたい。

障害者福祉サービスについては、数年の間、利用者受け入れ実績がなかったため、令和３年度をもって事業休止となった。今後、無理なく事業を継続していく準備ができた際には、事業を再開し、地域福祉に貢献していきたい。

＜提供目標と実績（２０名）＞

目標　年間延べ５，８４０人（１６．０人／日　利用率８０．０％）

実績　年間延べ４，８５２人（１３．３人／日　利用率６６．５％）

＜要因＞

長期利用の方の体調不良による入院や特養入所による減少が大きい。また新規利用者の定着が進まなかった事が要因として挙げられる。このことについては個々のニーズによるところが大きいが、定着に至らなかった要因の分析が必要と感じた。

２３．小規模多機能型居宅介護事業所すこやか館合（介護予防）

基本方針「楽しく、優しく、すこやかに」を職員信条として、目標である「安心できる

地域生活の実現」に努めた。
　重点課題「新型コロナウィルス感染防止の徹底」については、ご利用者、ご家族にも感染対策を理解、協力をしていただいた。行事は数日に分け３密にならないよう工夫して行い、外出支援については中止をした。

＜提供目標と実績（登録定員２５人）＞
　目標　月間登録者数　１８．０人（利用率　７２．０％）
　実績　月間登録者数　１７．３人（利用率　６６．７％）
＜要因＞
　年間を通して永眠、入院、他サービスへの移行があり登録解除となった利用者数が６名に対して、新規登録者が６名で増減はなかったが、９月～１１月にかけて登録者数が１５名まで減少したことで、利用率の減少に繋がった。
　他サービスへの移行はグループホームへの入居が１名、ショートステイへの移行が２名だった。ショートステイへ移行した２名に関してはサービス事業所も居宅介護事業所も法人内へ引き継いだことで、法人での収入には繋がった。

２４．児童発達支援事業「モモの家」
　令和３年度の在籍児童数は６６名で、内訳は６歳児２６名、５歳児１９名、４歳児１４名、３歳児６名、２歳児１名であった。新入園児は２５名で、昨年度より２名少なかった。紹介経路は例年同様、保健センターからの紹介が主であった。
　個別支援計画の作成では、会議の中で個々の発達段階や特性を踏まえながらも保護者の願いに沿うような計画を目指し、画一的な内容にならないよう意見を交わし合ってきた。
　１０月には、横手支援学校・教育専門官の菅原咲希子先生を講師として第３回目の「保護者学習会」を行い、年少～年長児まで１０名の保護者（父・母・祖母）が参加した。就学への準備として参考になる内容が多く、保護者からも活発に質問が出るなど大変有意義な学習会となった。
　保護者が安心して療育を受け、豊かな生活を送れるよう、保護者の不安や心配に耳を傾けながら、職員全体でより具体的な支援の提供に努めた。

＜提供目標と実績（定員１０名）＞
　目標　年間延べ 1,815 人（7.5 人／日　利用率 75.0%）
　実績　年間延べ 1,686 人（7.0 人／日　利用率 69.7%）

２５．県南愛児園「ドリームハウス」
　令和３年度、本園２５名、地域小規模児童養護施設６名、合計３１名でスタートしたが、年度中に５名の入所もあった。今年度は家庭復帰等の退所がなく、年度末に高校３年生２名が自立することができた。
　短期利用等において、ショートステイ４人で延べ日数１０７日、トワイライト利用１名で延べ日数５日、レスパイトケア１人で延べ日数２日、緊急一時保護４名で延べ日数２５８日（依頼件数２２件）という状況だった。入所には至らないが相談や依頼といったケースが増加している。また、例年よりは少ない利用状況になってはいるが、コロナ禍の中で利用希望を断らざるを得ない時も多かった。
　入所児童においてはそれぞれの課題も複雑多岐にわたり、施設機能の強化や職員の支援技術の向上が求められた。当園ではここ数年、短期利用や一時保護等の地域子育て支援の

福祉課題に直面しており、外部機関に職員を派遣し対応することができたが、入所施設として提供できるサービスや居室の整備が急務である。
民営化した児童養護施設には多くのことが求められているが、児童福祉や施設の理解を地域や関係機関と連携し、柔軟な対応ができるよう努めたい。

２６．横手市サンハイム

令和３年度は、８世帯２３名でスタートした。コロナ禍の為、年度途中に１世帯の入所があったものの問い合わせや相談がほとんどなかった。入所者においても、国からの給付金が断続的にあり、コロナによる仕事への影響も少なかったため一定の生活を維持することができていた。
２年間相次いで中止となっていた全体行事は、コロナ感染対策に気を配りながら、親子のレクリエーションや入進学を祝う会などを少しずつ開催し、親子と一緒に楽しめる時間を共有してきた。
支援においては、福祉事務所や医療機関などの関係機関と連携を取りながら、家計管理を一緒に行ったり、体調や精神不安に寄り添いながら受診に繋げ、同行して支援することに多くの時間を費やしてきた。又、良好な親子関係を構築できるよう、児童相談所や学校と情報共有しながら支援してきた。
子ども達の基本的な生活習慣が身につくよう重点課題に掲げ一年を通して工夫しながら関わってきたが、家庭で習慣化されることは難しく、引き続きよりよい子育てができるよう支援や見守りを行っていきたい。

２７．障害者支援施設「ひまわり社」

工賃支払い要綱（工賃支払評価基準表含む）の見直しをはじめ、生産活動作業手順の見直し、また、生産活動に係る必要経費を精査したうえで販売価格の適正化を図り、工賃アップにつなげた。
新型コロナウイルス感染により、リサイクル作業等に制限があり、また、行事も施設内で縮小した内容に留まった。コロナ禍が継続する中における、作業と行事の在り方を検討する必要がある。
広報を１回発行したが、重点課題としての情報発信という面からは、法人ホームページを活用した発信を積極的に行いたい。
ケース記録の記載については、職員の個人差があり課題であったが、標準化をする取り組みを行い向上した。
継続利用の利用者の退所があり、前年度より利用率が低下した。また、地域生活支援でも定期利用者の支援学校卒業に伴い利用率が低下した。新たな利用者受け入れに向けた活動が必要である。
相談支援においては、障害児相談支援を計画的に行い実績が伸びた。

資料内の用語について

※インシデント報告

＜事　故＞
　県および市に報告したもの。
　（例：転倒してケガをしたために、報告した。）

＜インシデント＞
　何らかの事象が生じたもの。
　（例：転倒したが、ケガはなかった。＜この場合でも状況に応じて報告したものは、事故に区分＞）

＜ヒヤリ・ハット＞
　何らかの事象が生じそうになり、ヒヤリ・ハットしたもの。
　（例：転倒しそうになった。）

施設別利用実績

区分	施設	定員	利用率目標（%）	年間延利用数（人）	1日平均（人）	利用率（%）
特養	すこやか横手	50	96.0	16,938	46.4	92.8
	すこやか大雄	50	95.0	17,057	46.7	93.5
	すこやか森の家	30	96.0	9,765	26.8	89.2
	いきいきの郷	50	95.0	17,269	47.3	94.6
	すこやか館合	29	96.0	9,533	26.1	90.1
計		209		70,562	193.32	92.0
ショートステイ	すこやか横手	20	92.0	6,496	17.8	89.0
	すこやか大雄	10	100.0	3,454	9.5	94.6
	すこやか森の家	20	92.5	6,080	16.7	83.3
	いきいきの郷	11	90.0	3,305	9.1	82.3
	すこやか館合	20	80.0	4,852	13.3	66.5
計		81		24,187	66.26	83.1
デイサービス	すこやか横手	30	50.0	4,726	15.1	50.3
	すこやか森の家	25	68.0	5,840	16.0	64.0
	いきいきの郷	18	80.0	4,504	14.5	80.7
計		73		15,070	45.63	65.0

資料１　すこやか横手

特別養護老人ホーム

１．年齢階層（令和４年３月３１日現在）

平均　：　男性　　83.9　歳　　女性　　88.0　歳

	～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100～歳	合計
男	0	0	1	1	2	2	0	1	0	7
女	1	2	0	1	4	12	13	7	1	41
合計	1	2	1	2	6	14	13	8	1	48

２．入居期間別状況（令和４年３月３１日現在）

	～1 年	1～2 年	2～3 年	3～4 年	4～5 年	5 年～	合計
男	2	3	1	1	0	0	7
女	12	2	6	3	4	14	41
合計	14	5	7	4	4	14	48

３．要介護度（令和４年３月３１日現在）　平均　4.20

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	3	1	3	7
女	0	1	6	18	18	43
合計	0	1	9	19	21	50

４．退居理由（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	3	0	3
女	0	16	0	16
合計	0	19	0	19

５．インシデント年間集計（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
45	107	24	1	0	0	177

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
22	11	10	11	11	5	92	0	3	0	11

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	0	0

ショートステイ

１．延べ人数及び介護度

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用延べ人数	522	547	522	563	517	535	515	580	539	560	532	564	6496
平均介護度	2.90	2.86	2.76	2.70	2.87	2.80	2.96	2.95	2.70	2.76	2.93	2.67	3.23

２．インシデント年間集計（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
14	31	15	3	0	0	0

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
24	6	1	2	0	2	12	4	0	0	9

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
2	1	0	0	0

ケアハウス

１．入居・退去状況

①　平均在籍期間（令和４年３月３１日現在）

在籍年数	1~6ヶ月	1~2年	3~4年	4~5年	6~7年	8~9年	10年~	平　均
人　数	0	6	2	2	2	2	1	4.4

②　年度内在籍数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延人数
男	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
女	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
計	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180

老人介護支援センター

1.相談件数 種別

相談件数　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	5	1	4	5	4	6	8	3	3	1	2	2	44
継続相談	3	0	0	6	0	0	1	0	0	1	0	0	11

相談経路　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪　　問	2	0	1	4	1	0	6	1	0	0	0	0	15
電　　話	4	0	2	5	2	6	3	2	2	2	1	0	29
来　　所	2	1	1	2	1	0	0	0	1	0	1	2	11

相談種別　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	3	1	4	11	4	2	6	3	3	2	1	2	42
福祉事業	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	1	5
医療･入院	2	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	6
施設入所	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	6
各種申請代行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あんしんﾊﾞﾄﾝ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

居宅介護支援センター

１．ケアプラン介護度別保険請求及び予防プラン・認定調査件数

介護度	%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	29.6	34	32	32	36	37	36	34	30	33	33	33	32	402
2	26.3	32	32	31	30	26	29	25	28	31	33	31	29	357
3	26.2	31	30	29	27	28	27	27	34	32	31	30	30	356
4	9.7	8	8	9	13	11	14	13	12	10	11	12	11	132
5	8.2	8	8	8	10	9	11	11	9	9	9	10	9	111
合計	100	113	110	109	116	111	117	110	113	115	117	116	111	1358

（予防プラン・認定調査件数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	件数	21	20	19	22	23	20	23	23	21	23	24	25	264
認定調査	在宅	4	6	8	0	4	7	5	1	5	6	4	8	58
	施設	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	5	12
	合計件数	5	6	8	0	4	7	5	1	5	7	9	13	334

デイサービス

１．延べ人数及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数	362	396	423	455	427	423	415	413	413	368	338	382	4815
平均介護度	2.3	2.4	2.5	2.5	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.43

２．インシデント年間集計（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
0	39	1	3	0	0	43

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬等	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
6	1	0	0	0	4	2	0	0	4	23

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
3	0	0	0	0

ホームヘルパーステーション

休止中

資料２　すこやか大雄

特別養護老人ホーム

１．年齢階層（令和４年３月３１日現在）

平均　：　男性　　83.3　歳　　女性　　89.3　歳

	～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100～歳	合計
男	0	1	1	0	2	4	2	0	0	10
女	0	1	2	2	3	10	10	9	2	39
合計	0	2	3	2	5	14	12	9	2	49

２．入居期間別状況（令和４年３月３１日現在）

	～1 年	1～2 年	2～3 年	3～4 年	4～5 年	5 年～	合計
男	3	2	1	1	1	2	10
女	11	7	4	10	0	7	39
合計	14	9	5	11	1	9	49

３．要介護度（令和４年３月３１日現在）　平均　4.3

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	1	3	6	10
女	1	0	5	15	18	39
合計	1	0	6	18	24	49

４．退居理由（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	3	1	4
女	0	6	2	8
合計	0	9	3	12

５．インシデント年間集計（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
19	41	17	1		2	80

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
0	27	2	9	8	2	8	0	1	2	20

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	0	0

ショートステイ

１．延べ人数及び介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	282	301	279	291	270	292	283	299	265	295	279	318	3454
平均介護度	2.46	2.48	2.47	2.60	2.59	2.58	2.59	2.55	2.73	2.82	2.82	2.71	2.61

２．インシデント年間集計（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
1	43	3	0	0	0	47

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
11	7	1	1	1	0	0	2	0	0	24

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

老人介護支援センター

1. 相談件数 種別

相談件数　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	13	21	24	10	17	22	20	18	22	17	20	25	229
継続相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

相談経路　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪　　問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電　　話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
来　　所	13	21	24	10	17	22	20	18	22	17	20	25	229

相談種別　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療･入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設入所	13	21	24	10	17	22	20	18	22	17	20	25	229
各種申請代行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あんしんﾊﾞﾄﾝ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

居宅介護支援センター

１．ケアプラン介護度別保険請求及び予防プラン・認定調査件数

介護度	%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	21.2	14	13	16	16	18	18	19	19	19	22	20	18	212
2	28.0	25	26	26	25	22	23	24	22	22	22	21	22	280
3	11.9	10	8	7	8	10	10	11	11	11	11	11	11	119
4	4.5	3	3	3	3	5	4	4	4	3	4	4	5	45
5	92.3	4	3	1	1	2	1	3	2	2	2	1	1	23
合計	100	56	53	53	53	57	56	61	58	57	61	57	57	679

（予防プラン・認定調査件数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	件数	21	21	20	19	18	18	18	16	17	16	16	17	217
認定調査	在宅	2	1	1	7	1	1	2	0	2	0	2	1	20
	施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計件数	2	1	1	7	1	1	2	0	2	0	2	1	20

資料３　すこやか森の家

特別養護老人ホーム

１．年齢階層（令和４年３月３１日現在）

平均　：　男性　　90.5　歳　　女性　　86.7　歳

	～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100～歳	合計
男	0	0	0	0	1	1	1	0	1	4
女	0	1	0	2	4	7	7	2	0	23
合計	0	1	0	2	5	8	8	2	1	27

２．入居期間別状況（令和４年３月３１日現在）

	～1 年	1～2 年	2～3 年	3～4 年	4～5 年	5 年～	合計
男	1	1	2	0	0	0	4
女	3	2	5	1	1	11	23
合計	4	3	7	1	1	11	27

３．要介護度（令和４年３月３１日現在）　平均　4.11

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	2	1	1	4
女	0	2	2	10	9	23
合計	0	2	4	11	10	27

４．退居理由（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	1	0	1
女	0	8	0	8
合計	0	9	0	9

５．インシデント年間集計（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
4	28	19	2	0	0	53

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
0	15	3	1	2	4	6	4	5	1	10

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
2	0	0	0	0

ショートステイ

１．延べ人数及び介護度

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用延べ人数	456	530	520	483	493	457	502	514	517	543	515	553	6083
平均介護度	2.86	2.92	2.99	2.91	2.87	2.82	2.90	3.06	3.00	2.90	2.89	2.81	2.91

２．インシデント年間集計（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）
分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
3	28	20	2	0	0	53

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
7	14	1	2	0	3	2	0	1	0	21

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
2	0	0	0	0

デイサービス
１．延べ人数及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数	519	547	536	546	521	508	483	457	458	433	375	456	5839
平均介護度	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.2	2.2

２．インシデント年間集計（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）
分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
3	19	28	7	0	0	57

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬等	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
4	6	0	0	0	1	2	0	0	4	33

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
7	0	0	0	0

資料４　シルバードームいきいきの郷

特別養護老人ホーム

１．年齢階層（令和４年３月３１日現在）

平均　：　男性　　84.8　歳　　女性　　89.8　歳

	～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100～歳	合計
男	0	0	2	0	1	1	2	1	0	7
女	0	2	1	4	8	4	11	8	2	40
合計	0	2	3	4	9	6	13	9	2	47

２．入居期間別状況（令和４年３月３１日現在）

	～1 年	1～2 年	2～3 年	3～4 年	4～5 年	5 年～	合計
男	1	0	1	1	1	3	7
女	10	12	5	5	2	6	40
合計	11	12	6	6	3	9	47

３．要介護度（令和４年３月３１日現在）　平均　4.66

	1	2	3	4	5	合計
男	0	0	1	1	5	7
女	0	0	0	10	30	40
合計	0	0	1	11	35	47

４．退居理由（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	4	0	4
女	0	12	1	13
合計	0	16	1	17

５．インシデント年間集計（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
2	69	4	1	0	0	76

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
3	0	3	1	30	1	30	0	0	0	8

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	0	0

ショートステイ

１．延べ人数及び介護度

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用延べ人数	290	320	298	307	285	278	267	244	242	265	219	290	3,537
平均介護度	3.3	3.2	3.1	3.0	3.2	3.2	3.3	3.1	3.2	3.2	3.1	3.2	3.2

２．インシデント年間集計（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）
分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
0	22	2	0	0	0	24

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
8	0	0	0	0	1	9	0	0	0	6

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

デイサービス
１．延べ人数及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延人数	408	411	380	411	397	401	404	372	369	394	284	373	4,505
平均介護度	2.4	2.3	2.3	2.5	2.3	2.3	2.3	2.4	2.3	2.3	2.3	2.4	2.3

２．インシデント年間集計（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）
分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意見	その他	合計報告数
0	24	12	0	0	0	36

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬等	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
5	5	2	1	0	4	0	0	1	3	15

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
0	0	0	0	0

居宅介護支援センター
１．ケアプラン介護度別保険請求及び予防プラン・認定調査件数

介護度	%	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	22.4	27	28	26	27	27	26	23	22	23	20	24	25	298
2	41.6	43	43	45	47	48	47	46	47	45	46	47	48	552
3	15.7	18	18	18	16	19	19	20	18	18	15	15	15	209
4	8.3	10	10	8	8	7	7	8	8	11	11	11	11	110
5	12.0	10	13	13	13	12	13	14	14	15	15	14	13	159
合計	100	108	112	110	111	113	112	111	109	112	107	111	112	1328

（予防プラン・認定調査件数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	件数	25	26	27	28	28	28	28	27	27	25	25	25	319
認定調査	在宅	2	5	3	2	9	2	3	12	3	4	5	2	52
	施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計件数	2	5	3	2	9	2	3	12	3	4	5	2	371

老人介護支援センター

1. 相談件数 種別

相談件数　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談	1	2	3	4	8	3	0	2	5	3	2	1	34
継続相談	1	2	2	1	1	2	2	1	2	0	1	1	16

相談経路　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪　　問	1	1	3	1	3	3	1	2	4	0	0	2	21
電　　話	1	3	1	4	5	2	1	1	3	3	3	0	27
来　　所	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2

相談種別　　重複あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護相談	2	2	3	3	6	2	1	2	5	3	1	1	31
福祉事業	0	0	2	5	3	2	1	3	7	1	2	0	26
医療･入院	0	2	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	6
施設入所	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	4
各種申請代行	0	1	2	1	0	1	2	0	2	0	0	0	9
あんしんﾊﾞﾄﾝ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症	0	2	1	0	0	2	1	1	0	2	0	1	10
高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	2	0	3	1	2	0	0	0	0	8

資料５　すこやか館合

特別養護老人ホーム

１．年齢階層（令和４年３月３１日現在）

平均　：　男性　　86.0　歳　　女性　　91.0　歳

	～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～99 歳	100～歳	合計
男	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3
女	0	0	0	0	3	6	9	5	1	24
合計	0	0	0	1	3	7	10	5	1	27

２．入居期間別状況（令和４年３月３１日現在）

	～1 年	1～2 年	2～3 年	3～4 年	4～5 年	5 年～	合計
男	1	2	0	0	0	0	3
女	6	4	4	3	3	4	24
合計	7	6	4	3	3	4	27

３．要介護度（令和４年３月３１日現在）　平均　4.18

	1	2	3	4	5	合計
男	0	1	0	0	2	3
女	0	0	4	10	10	24
合計	0	1	4	10	12	27

４．退居理由（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）

	在宅復帰	死亡	長期入院	合計
男	0	1	0	1
女	0	6	2	8
合計	0	7	2	9

５．インシデント年間集計（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）

分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
0	36	14	1	0	0	51

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
0	12	2	4	1	5	22	0	1	1	6

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	1	0

ショートステイ

１．延べ人数及び介護度

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用延べ人数	390	350	299	398	410	411	467	434	432	439	417	405	4,852
平均介護度	3.12	3.21	2.73	2.71	2.74	2.79	2.66	2.66	2.60	2.65	2.73	2.69	2.77

２．インシデント年間集計（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）
分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
3	21	14	1	0	0	39

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
2	6	1	2	0	1	5	1	0	1	19

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
1	0	0	0	0

小規模多機能型居宅介護
１．サービス利用状況
利用実績内訳（介護給付）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	253	239	240	268	266	263	218	205	293	322	275	314	3156
泊り	76	67	57	39	50	47	12	19	102	116	103	110	798
訪問	4	0	6	6	6	5	5	4	0	0	0	0	36

利用実績内訳（介護予防）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	62	66	56	48	46	39	42	46	42	42	48	54	591
泊り	9	4	1	7	0	0	0	3	0	0	0	0	24
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

２．インシデント年間集計（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）
分類別報告数

事故	インシデント	ヒヤリ・ハット	苦情・不満	意　見	その他	合計報告数
0	13	6	3	0	0	22

発生内容

転倒等	服薬飲み忘れ誤薬	車椅子より転落等	ベッドより転落等	経管栄養管外れ抜去等	食事形態確認ミス異食等	外傷打撲骨折等	徘徊無断外出等	設備管理不備等	移乗移動介助ミス	その他介助ミス等
6	1	0	0	0	2	2	0	0	0	8

苦情・不満等

職員の対応	入居者間	送迎	連絡等	設備不備
3	0	0	0	0

資料６　児童発達支援事業「モモの家」

１.入退園状況（令和４年３月３１日現在）　（単位：人）

区分 / 性別	本年度入園児童数	本年度卒退園児童数				計	次年度へ移る
		普通	特学	支援学校	その他		
男	49	10	7	2	1	20	29
女	17	3	3	1	0	7	10
計	66	13	10	3	1	27	39

２.地域別通園状況
（令和４年３月３１日現在）（単位：人）

地域 / 性別	横手	その他	計
男	49	0	49
女	17	0	17
計	66	0	66

３.年齢別表（令和４年３月３１日現在）　（単位：人）

年齢 / 人数	０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	６歳児	その他	合計
合計	0	0	1	6	14	19	26	0	66

４.月別通園状況（令和４年３月３１日現在）　（単位：人）

月別 / 内容	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
通園延べ人数	119	134	132	128	150	153	150	152	156	117	137	158	1686
療育日数	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	242
平均人数	5.67	7.44	6.00	6.40	7.14	7.65	7.14	7.60	7.80	6.16	7.61	7.18	6.97

５.障害の種別（令和４年３月３１日現在）　（単位：人）

障害別 / 性別	身体障害者手帳有	診断名有(知的障害)	診断名有(自閉症スペクトラム・注意欠陥多動障害等)	診断名有(ダウン症・てんかん等)	その他	合計
男	0	6	7	1	35	49
女	1	3	3	0	10	17
合計	1	9	10	1	45	66

資料７　県南愛児園「ドリームハウス」

１．在籍状況（毎月１日現在）

本園　（単位：人）

４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
25	24	25	25	25	26	26	27	27	27	27	28

（平均 26.0 人／月　利用率 86.0%）

分園（地域小規模児童養護施設きずな）　（単位：人）

４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

（平均　6 人／月　利用率 100%）

２．出身地別　（単位：人）

横手市	秋田市	仙北市	大仙市	湯沢市	由利本荘市	潟上市	羽後町	美郷町	東成瀬村	合計
8	4	2	5	5	4	1	1	3	1	34

３．入所理由別人数　（単位：人）

養育困難	4
児童の問題行動による養育困難	1
実母精神障害による養育困難	2
継父による身体的虐待	2
実母による虐待（ネグレクト）	2
実母による心理的・身体的虐待	5
両親による虐待（ネグレクト）	2
母精神障害によるネグレクト	1
実父による身体的、心理的虐待	4
棄児	1
実母による虐待（身体・心理他）	2
両親によるネグレクト身体的虐待	4
養育者死亡による養育困難	1
両親の低育児能力・ネグレクト	1
両親の精神疾患による養育不安	1
母及び母の交際相手からの虐待	1
合計	34

４．学年別　（単位：人）

	幼児	小１	小２	小３	小４	小５	小６	中１	中２	中３	高１	高２	高３	無所属	計
男子	2	0	0	1	0	1	0	3	3	2	2	1	1	0	17
女子	2	0	2	0	4	0	2	0	3	1	3	0	1	0	17
計	4	0	2	1	4	1	2	3	6	3	5	1	2	0	34

資料８　横手市サンハイム

１．入退所及び一時保護の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3月末	合計
入所	世帯	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	人数	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0
退所	世帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
1日在籍	世帯	8	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	102	8
	児童	15	15	15	15	15	15	17	17	17	17	17	17	192	15
	合計	23	23	23	23	23	23	26	26	26	26	26	26	294	23
一時保護【人】			1	0	0	0	0	3 (1)	0	0	0	0	0	0	4 (2)

２．措置機関別世帯数

地域別	横手市	羽後町	秋田市	広域	計
世帯数	6	2	1	0	9
児童数	11	5	1	0	17

３．世帯構成数

家族の人数	2人	3人	4人	5人	合計
世帯数	3	4	2	0	9

４．入所理由

夫等の暴力や家族からの虐待	入所前の家庭環境の不適切	母親の心身の不安定	住宅及び経済事情	その他（死別等）
4	2	0	3	0

５．母の年齢

母の年齢	20代	30代	40代	50代
人数	0	5	4	0

６．児童の学年

学年	0～2歳児	3～5歳児	小1～３	小４～６	中学生	高校生	合計
男	2	0	1	4	2	1	10
女	0	0	3	2	1	1	7
合計	2	0	4	6	3	2	17

資料９　障害者支援施設「ひまわり社」

１．利用者延人数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	136	127	148	133	133	136	146	131	141	121	110	147	1609
就労Ｂ	239	205	249	225	204	206	216	202	216	187	182	228	2559

２．利用者数（人）

性別	男性	女性	合計
生活介護	8	2	10
就労Ｂ	9	3	12

３．障害種別（人）

	知的	身体	精神	合計
生活介護	9	3	0	12
就労Ｂ	10	3	0	13

※重複あり

４．障害程度区分

区分	1	2	3	4	5	6	平均区分
生活介護	0	0	0	5	3	2	4.7
就労Ｂ	―	―	―	―	―	―	―

５．日中一時支援事業　利用者延人数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日中一時支援	65	61	62	59	39	65	69	56	62	44	62	40	684

６．相談支援事業利用者件数（新規・モニタリングを含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談支援（計画・児）	37	16	35	15	24	42	17	21	27	17	18	19	269